

【例題－心理 11】

次のうち、部分強化効果に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 味覚刺激と吐き気の連合は形成されやすい一方、光と吐き気の連合は形成されにくいというように刺激と反応の間で生得的に選択的關係があること。
2. 刺激Aに類似した刺激Bに般化が生じている場合に、刺激Aのみに選択的に無条件刺激を伴わせる手続きを繰り返すと、刺激Aのみに条件反応が生じるようになること。
3. たとえばベルの音と餌を対提示して、ベルの音に対して唾液が出るように犬を条件づけた後、ベルの音と光を対提示する手続きを繰り返すと、光に対して条件反応が形成されること。
4. オペラント条件づけにおいて、特定の望ましい反応にだけ強化を伴わせると、その反応の生起率が上昇し、他の反応の生起率が減少すること。
5. オペラント条件づけを行う際に、反応に対して必ず強化を与えるよりも、時々強化を与える方が、成立した反応が消去されにくいこと。

(正答) 5